

令和3年度 事業報告書

1. 諸会議	
1) 総会	
(1) 第 71 回(春季)通常総会	1
(2) 第 71 回(秋季)通常総会	5
2) 監事監査	5
3) 理事会(第 1 回～第 3 回)、正・副会長会議(第 1 回～第 7 回)	6
4) 公立短期大学教育70周年記念事業実施委員会(第 4 回～第 7 回)	14
2. 研修会	
1) 第 52 回事務職員中央研修会	19
2) 第 40 回幹部研修会	22
3. 公立短期大学実態調査の実施及び同報告書の発行	26
4. 情報収集・情報提供活動	
1) ホームページの作成・管理	26
2) 関係機関等への意見表明	27
○自由民主党政務調査会 文部科学部会「教師の養成・採用・研修・支援について」 提言と提言とりまとめに向けた要望	
○公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書	
○平成 30 年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テストにおける 出題科目『情報Ⅰ』の経過措置について(回答)	
○審議まとめ(案) — 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の 実現に向けて — に関する意見募集の実施について	
3) 会員校間における情報交換	
(1) 大学等(会員校)における令和 3 年度後期授業の実施方針等について(調査)	33
(2) 総会・研修会等における情報交換	33
4) 後援名義の許可	41
5. 外部機関の委員会等における活動	42
6. 主な発信文書一覧	43

1. 諸会議

1) 総会

(1) 令和3年度第71回（春季）通常総会

①学長及び会員である短期大学を代表する者について

（令和3年4月1日現在）

No	短期大学名	学長	会則による 会員である短期大学を代表する者	
			職名	氏名
1	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学宮古短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
2	公立大学法人岩手県立大学 岩手県立大学盛岡短期大学部	鈴木 厚人	学長	鈴木 厚人
3	山形県公立大学法人 山形県立米沢女子短期大学	阿部 宏慈	学長	阿部 宏慈
4	公立大学法人会津大学 会津大学短期大学部	宮崎 敏明	短期大学部長	石光 真
5	川崎市立看護短期大学	坂元 昇	学長	坂元 昇
6	大月市立大月短期大学	柳沢 幸治	学長	柳沢 幸治
7	岐阜市立女子短期大学	畑中 重光	学長	畑中 重光
8	静岡県公立大学法人 静岡県立大学短期大学部	尾池 和夫	短期大学部長	佐々木 隆志
9	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	鈴木 滋彦	学長	鈴木 滋彦
10	三重短期大学	村井 美代子	学長	村井 美代子
11	公立大学法人島根県立大学 島根県立大学短期大学部	清原 正義	副学長	岸本 強
12	倉敷市立短期大学	安達 励人	学長	安達 励人
13	公立大学法人 大分県立芸術文化短期大学	小手川 大助	学長	小手川 大助
14	鹿児島県立短期大学	塩地 洋	学長	塩地 洋

（注）網掛けは、異動のあった者を示す。

② 議事概要

令和3年5月27日（木）に、Web会議にて、第71回（春季）通常総会を開催した。会議には学長、学部長、事務局長等34名が出席した。

会議は、午前11時に開会、柳沢会長の挨拶につづき、新任学長等の紹介が行われた後、来賓である文科省高等教育局大学振興課西田憲史課長から挨拶と文部科学省の行政説明「公立短大を巡る高等教育政策について」の講演が行われた。

総務省の行政説明では、自治財政局財務調査課清水敦課長補佐から「地方財政の課題等について」、また、内閣官房からは、まち・ひと・しごと創生本部事務局青木純参事官補佐から「地方創生に資する大学改革に向けて」、それぞれ最新の行政課題についての講演が行われた。

「総会議事」は、(1) 役員の選出では、会長に大月短期大学の柳沢幸治学長、副会長には山形県立米沢女子短期大学の阿部宏慈学長が選任され、理事には会津大学短期大学部の石光真部長が選出されたほか、理事代理には岐阜市立女子短期大学の畑中重光学長が指名された。また、監事には川崎市立看護短期大学坂元昇学長が再任された。以上のほか、(2) 令和2年度事業報告・決算報告、(3) 令和3年度事業計画・予算概算などが審議・承認された。

「研究協議」は、三重短期大学の村井美代子学長の進行で進められ、①「修学支援新制度による入学金・授業料の減免対象者に関連して」（大月短期大学提案）、②「地元学生の優遇及び地元就職への取り組みについて」（倉敷市立短期大学）、それぞれ活発な意見交換が行われた。

協議の終了後、高等教育局大学振興課短期大学係東尚平主任から協議事項についての助言も含めた挨拶をいただいた後、柳沢会長による総会の総括と挨拶があり、盛会裡のうちに午後4時に閉会した。（了）

③ 役員の選出について（詳細）

・理事の選出について

令和3年3月31日をもって学長の任期が満了し退官された前理事杉山寛行氏（岐阜市立女子短期大学学長）の後任者は、会則第7条第2項の規定に基づき、次の者を選任。任期は前任者の残任期間とし、令和4年の春季通常総会までの1年間。

理 事 石 光 真 いしみつ まこと（会津大学短期大学部短期大学部長） （新任）

・会長・副会長の選出について

令和3年3月31日をもって学長の任期が満了し退官された前会長杉山寛行氏（岐阜市立女子短期大学学長）の後任者について、会則第7条第1項の規定に基づき次の者を選任。

任期は前任者の残任期間とし、令和4年の春季通常総会までの1年間。

会 長 柳 沢 幸治^{やなぎさわ こうじ}（大月市立大月短期大学学長）（新任）

柳沢幸治氏（大月市立大月短期大学学長）の会長の選任に伴う副会長の後任者について、会則第7条第1項の規定に基づき次の者を選任。任期は前任者の残任期間とし、令和4年の春季通常総会までの1年間。

副会長 阿部 宏慈^{あべ こうじ}（山形県立米沢女子短期大学学長）（新任）

・理事代理の選任について（総会報告事項）

会則第7条の2の規定に基づき、理事会において次の者を理事代理に選任し会長に推薦。

会長は推薦に基づき理事代理を指名。任期は前任者の残任期間とし、令和4年の春季通常総会までの1年間。

理事代理 畑中 重光^{はたなか しげみつ}（岐阜市立女子短期大学学長）（新任）

・監事の選出について

令和3年度春季通常総会までとなっている監事坂元 昇^{さかもとのぼる}氏（川崎市立看護短期大学学長）の後任者は、会則第7条第3項の規定に基づき同氏を再任。任期は、平令和5年の春季通常総会までの2年間。

・顧問について

会則第10条第2項に規定する顧問については、令和3年3月末日をもって学長を退任された前会長杉山寛行氏（岐阜市立女子短期大学学長）を承認。

役員一覧（案）

（令和3年5月27日通常総会からの任期）

役員名	役員名	短期大学名	職名	氏名	現在の任期
会長	会長	大月市立大月短期大学	学 長	柳沢 幸治	令和4年春季通常総会まで
副会長	副会長	三重短期大学	学 長	村井美代子	令和4年春季通常総会まで
		山形県立米沢女子短期大学	学 長	阿部 宏慈	令和4年春季通常総会まで
理事	理事	岩手県立大学宮古短期大学部	学 長	鈴木 厚人	令和4年春季通常総会まで
		岩手県立大学盛岡短期大学部			
		島根県立大学短期大学部	副学長	岸本 強	令和4年春季通常総会まで
		会津大学短期大学部	短期大学部長	石光 真	令和4年春季通常総会まで
理事代理	理事代理	倉敷市立短期大学	学 長	安達 励人	令和4年春季通常総会まで
		鹿児島県立短期大学	学 長	塩地 洋	令和4年春季通常総会まで
		岐阜市立女子短期大学	学 長	畑中 重光	令和4年春季通常総会まで

監事	監事	川崎市立看護短期大学	学 長	坂元 昇	令和5年春季通常総会まで
		大分県立芸術文化短期大学	学 長	小手川 大助	令和4年春季通常総会まで

・功労者表彰について（案）

学長表彰

岐阜市立女子短期大学 学長 杉山 寛行

事務局長表彰

大月短期大学 事務局長 卯月 勝

・公立短期大学教育70周年記念事業について（案）

（1）記念式典等について

①本年5月28日（金）に予定している式典・祝賀会は中止する。

なお、記念誌は令和3年度に編集・発行する。

②令和2年度予算に計上され、令和3年度に繰越された公立短期大学教育70周年記念式典等に要する経費は、令和3年度の会費額において相殺するものとする。

（2）事業実施委員会委員について

＜これまでの実施委員会＞（令和元年10月31日）令和元年度秋季通常総会）

委員長	杉 山 寛 行	岐阜市立女子短期大学学長 (令和3年3月31日定年退官)
委 員	柳 沢 幸 治	大月短期大学学長
委 員	村 井 美 代 子	三重短期大学学長

＜今後における実施委員会＞（案）（令和3年5月27日）

委員長	柳 沢 幸 治	大月短期大学学長
委 員	阿 部 宏 慈	山形県立米沢女子短期大学学長
委 員	村 井 美 代 子	三重短期大学学長

（3）記念誌について

公立短期大学教育70周年記念誌は60周年記念誌にならって作成する。

(2) 令和3年度第71回(秋季)通常総会

令和3年10月26日(火)に、ウェブ(ホスト会場; AP 虎ノ門会議室)により第71回(秋季)通常総会を開催。加盟大学学長、事務局長等関係者37名が出席した。

○ 議事概要

午前11時に開会、柳沢会長の挨拶の後、来賓の文部科学省高等教育局大学振興課長新田正樹氏から挨拶に続き「高等教育を巡る文教政策について」の説明が行われた後、質疑応答が行われた。

次いで、総会議事に入り、会務報告の後、審議事項(1)次年度の春季通常総会の日程や開催方法(2)令和4年度予算編成方針及び会費(3)次期役員の選出等について審議が行われ、原案通り承認された。

「研究協議1」はシンポジウム形式で行われ、副会長の阿部宏慈氏(米沢短期大学学長)の司会進行のもと、元会長の東福寺一郎氏(前三重短期大学学長)の基調講演「コロナ収束後の公立短期大学の在り方」に続いて、公立短期大学のあるべき姿や今後の課題について活発な意見交換が行われた。

「研究協議2」における「学長の実践事例発表」では、副会長の村井美代子氏(三重短期大学学長)の司会進行のもと、安達励人氏(倉敷市立短期大学学長)及び塩地洋氏(鹿児島県立短期大学学長)から、それぞれ実践に基づく発表が行われた後、意見交換が行われた。

「研究協議3」は各大学から提案された課題についての協議で、大月短期大学から提案された「就職活動の早期化傾向への対応」、「就職志望と求人とのアンマッチへの対応」、「ハイブリッド授業の成功例」ほか、また、三重短期大学から提案された「ディプロマポリシーと学習成果の測定方法」について、それぞれ提案大学からの趣旨説明と、これに対する参加者との意見交換が行われた。

研究協議終了後、大学振興課短期大学係東主任から、政策上の支援体制等について助言があった。16時40分に柳沢会長の挨拶をもって終了した。(了)

2) 監事監査

【監事会(会計監査)】

令和3年4月14日(水)13時30分から、坂元監事及び小手川監事による監事監査がweb会議(ホスト会場; 公短協事務局)により実施され、令和2年度決算について、令和2年

度事業報告（案）及び令和２年度決算報告書（案）の帳簿、証拠書類、預金通帳等の照合等による監査の結果、適正であることが認められた。

＜出席者一覧＞

会長代行	大月市立大月短期大学	学 長	柳沢 幸治
監 事	川崎市立看護短期大学	学 長	坂元 昇
	大分県立芸術文化短期大学	学 長	小手川 大助
会長校局長	大月市立大月短期大学	事務局長	小坂 充
	公短協事務局	事務局長	塚越 義行
		事務局員	海野 道子

3)理事会(第１回～第３回)、正副会長会議(第１回～第７回)

【第1回理事会】

１．日 時 令和３年４月１６日（金） １３：３０～１５：００

２．場 所 ウェブ会議と持回りの併用により開催

（ホスト会場は公短協事務局）

３．出席者

役員名	短 期 大 学 名	職 名	氏 名
会長代行	大月市立大月短期大学	学 長	柳沢 幸治
		副会長校事務局長	小坂 充
副会長	三重短期大学	学 長	村井美代子
		事務局長	溝田 久孝
理 事	岩手県立大学 宮古短期大学部 盛岡短期大学部	学 長	鈴木 厚人
		企画室主幹	正部家 忍
理 事	山形県立 米沢女子短期大学	学 長	阿部 宏慈
理 事	島根県立大学短期大学部	副学長	岸本 強
		事務部長	吉村 勉

監 事	川崎市立看護短期大学	学 長	坂元 昇
	大分県立 芸術文化短期大学	学 長	小手川 大助
公短協 事務局	全国公立短期大学協会	事務局長	塚越 義行

<議 事>

1. 次期役員の選任等について

- ① 理事の選出について
- ② 会長・副会長の選出について
- ③ 理事代理の選任について
- ④ 監事の選出について
- ⑤ 顧問について

2. 令和2年度事業報告について

3. 決算報告について

4. 令和3年度事業計画及び令和3年度 予算概算について

- ① 令和3年度事業計画
- ② 令和3年度予算編成方針
- ③ 令和3年度予算概算

5. 今後の日程について

【第2回理事会】

1. 日 時 令和3年9月15日（水）

2. 開催方法 メールによる持回り開催

「審議書」により審議結果を提出

3. 理事会構成員

会 長（大月市立大月短期大学学長）	柳沢 幸治
副会長（三重短期大学学長）	村井美代子
副会長（山形県立米沢女子短期大学学長）	阿部 宏慈
理 事（岩手県立大学宮古短期大学部学長）	鈴木 厚人
理 事（岩手県立大学盛岡短期大学部学長）	鈴木 厚人
理 事（島根県立大学短期大学部副学長）	岸本 強

理 事（会津大学短期大学部短期大学部長） 石光 真
 監 事（川崎市立看護短期大学学長） 坂元 昇
 監 事（大分県立芸術文化短期大学学長） 小手川大助

<議 事>

1. 令和4年度事業計画について

通常年度ベースの事業とすること。

2. 令和4年度予算編成方針について

通常年度の予算規模（概ね832万円）に戻すこととし、予算編成方針を修正する。

【理由】令和2年度に予定していた70周年事業（記念式典）は中止することとされ、また、令和3年度に予定している70周年記念誌の事業予算等について目途がついたことによるもの。

3. 令和4年度会費について

前項の予算編成方針に基づき算出すること。

○報告事項 共通テストにおける『情報Ⅰ』の経過措置について

会員校から提出された意見を、正副会長のもとで取りまとめ、大学入試センター理事長あてに意見を提出したこと。

【第3回理事会】

1. 日 時 令和3年10月15日（金）

2. 開催方法 Zoomによるウェブ会議（ホスト会場；公短協事務室）

「審議書」により審議結果を提出 10月18日（月）まで

3. 出席者

役員名	短期大学名	職名	氏名
会長	大月市立大月短期大学	学 長	柳沢 幸治
		事務局長	小坂 充
副会長	三重短期大学	学 長	村井美代子
		事務局長	溝田 久孝
副会長	山形県立 米沢女子短期大学	学 長	阿部 宏慈
		事務局長	佐々木 紀子

理 事	岩手県立大学 宮古短期大学部 盛岡短期大学部	学 長	鈴木 厚人
		企画室主幹	正部家 忍
理 事	島根県立大学短期大学部	副学長	岸本 強
		事務部長	吉村 勉
理 事	会津大学短期大学部	短期大学部長	石光 真
監 事	川崎市立看護短期大学	学 長	坂元 昇
		事務局長	高岸 堅司
	大分県立 芸術文化短期大学	理事長兼学長	小手川 大助
		総務企画部長	三重野 浩通
公短協 事務局	全国公立短期大学協会	事務局長	塚越 義行

4. 審議事項

<議案>

1. 令和3年度 第71回（秋季）通常総会に付議する事項及び日程について
2. 議案2 令和4年度 第72回（春季）通常総会の開催日程等について
3. 令和4年度以降 通常総会における研究・協議について
4. 令和4年度事業計画について
5. 令和4年度 予算編成方針について
6. 令和4年度会費について
7. 次期役員の選出等について

報告1 短期大学教育70周年記念誌（構成案）

報告2 授業目的公衆送信補償金制度の利用状況や課題

報告3 図書館公衆送信再サービス補償金関係者協議会の構成団体の呼びかけ

報告4 新たな教師の学びの姿の実現に向けてのパブリックコメント

【第1回正・副会長会議】

1. 日 時 令和3年5月21日（金） 13:15～15:00

2. 開催方法 オンライン会議（Zoom にて開催いたします。）

ホスト会場は、公短協事務局

3. 出席者

柳沢 会長代行（大月短期大学長）

村井 副会長（三重短期大学長）

塚越公短協事務局長

4. 議案

①第71回（春季）通常総会について

②その他

【第2回正・副会長会議】

1. 日時 令和3年8月19日（木）10：30～11：30

2. 開催方法 オンライン会議（Zoom にて開催）

ホスト会場は、公短協事務局

3. 出席者

会長 柳沢 幸治

副会長 村井 美代子

副会長 阿部 宏慈

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

4. 議案

（1）令和4年度事業計画について

（2）令和4年度予算編成方針について

（3）令和4年度会費について

（4）公短協事務局の勤務体制・処遇等について

（5）共通テストにおける『情報Ⅰ』の経過措置について

（6）令和3年度第2回理事会の議案について

（7）その他

公短協の予算及び会費の在り方について

【第3回正・副会長会議】

1. 日 時 令和3年9月13日（月）15:00～16:00

2. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務局

3. 出席者

会 長	柳沢 幸治
副会長	村井 美代子
副会長	阿部 宏慈
会長校事務局長	小坂 充
公短協事務局長	塚越 義行

4. 議 案

- (1) 令和4年度予算編成方針について
- (2) 令和4年度会費について
- (3) その他

【第4回正・副会長会議】

1. 日 時 令和3年10月8日（金）13:15～13:40

2. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務局

3. 出席者

会 長	柳沢 幸治
副会長	村井美代子
副会長	阿部 宏慈
会長校事務局長	小坂 充
公短協事務局長	塚越 義行

4. 議 案

＜第4回正副会長会議＞

- (1) 令和3年度第71回（秋季）通常総会に付議する事項について
 - ① 令和4年度第72回（春季）通常総会の開催日程等について
 - ② 令和4年度事業計画、予算編成方針及び会費について
 - ③ 次期役員の選出等について
- (2) その他

【第5回正・副会長会議】

1. 日 時：令和3年12月17日（金） 13：15～13：40

2. 開催方法：ウェブ会議（Zoomにて開催）

3. 主 会 場：公短協事務室

東京都千代田区内神田 3-5-5 大同ビル 3階

4. 出 席 者：

会 長 柳沢 幸治

副会長 村井美代子

副会長 阿部 宏慈

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

<議 事>

（1）第40回幹部研修会について

・開催方法について

・研修プログラムについて

（2）その他

【第6回正・副会長会議】

1. 日 時 令和4年2月21日（月） 13：00～13：30

2. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務室

3. 出 席 者

会 長 柳沢 幸治

副会長 阿部 宏慈

副会長 村井美代子

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

4. 議 案

（1）令和4年度事業計画等について

・「公短協の事業の在り方検討委員会（仮称）」の設置について

・共通パンフレットの作成について

（2）その他

- ・公短協における今後の取引銀行について
- ・公立短期大学実態調査のオンライン化について

(報告事項)

- ・男女参画連携会議・女性の活躍促進チームアンケートについて
- ・大学ポートレート運営会議（第16回）について
- ・令和3年度就職問題懇談会（第四回）について
- ・避難器具の設置について

【第7回正・副会長会議】

1. 日 時 令和4年3月24日（木）10：30～12：00

2. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務室

3. 出席者

会 長 柳沢 幸治

副会長 阿部 宏慈

副会長 村井美代子

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

4. 議 案

- (1) 次期役員の選任等について
- (2) 令和3年度の決算見込みについて
- (3) 令和4年度事業計画・予算・会費等について
- (4) 「公短協の事業の在り方検討委員会（仮称）」の設置について
- (5) 令和4年度 第72回（春季）通常総会について
- (6) 公短協就業規則について
- (7) 功労者表彰について
- (8) その他
 - ・幹部研修会等の在り方（開催日程）について
 - ・70周年誌の発送について
 - ・公短協における今後の取引銀行について

4) 公立短期大学教育70周年記念事業実施委員会(第4回～第7回)

【第4回70周年記念事業実施委員会】

1. 日 時 令和3年5月21日(金) 14:00～15:00

2. 開催方法 オンライン会議 (Zoomにて開催いたします。)

ホスト会場は、公短協事務局

(正副会長会議に合わせて、ZoomのURLを送信します。)

3. 出席者

委員長 柳沢 委員(大月短期大学長)

委員 村井 委員(三重短期大学長)

塚越公短協事務局長

4. 議 案

1. 委員候補者の選任について

2. 公立短期大学教育70周年記念誌について

3. その他

(資料1) 委員候補者(案)

<これまでの実施委員会> (令和元年10月31日令和元年度秋季通常総会設置)

委員長	杉 山 寛 行	岐阜市立女子短期大学長 (令和3年3月31日定年退官)
委員	柳 沢 幸 治	大月短期大学長
委員	村 井 美 代 子	三重短期大学長

<今後における実施委員会> (案)

(令和3年5月21日案)

委員長	柳 沢 幸 治	大月短期大学学長
委員	阿 部 宏 慈	山形県立米沢女子短期大学学長
委員	村 井 美 代 子	三重短期大学学長

(資料2) 公立短期大学教育70周年記念事業の記念誌(案)について

公立短期大学教育70周年記念事業の記念誌は、60周年記念誌にならって作成することとし、下記のとおりとする。

記

1. 記念誌の作成

冊子は簡便なものとし、電子媒体による情報提供を基本とする。

なお、作成に要する経費は、予備費をもって充てる。

2. 記念誌の構成

○巻頭言 全国公立短期大学協会 顧問 東福寺一郎

○祝 辞 文部科学省

総務省

○挨拶 会長

○教育功労者表彰

○会員校紹介（各会員校）

1) 沿革

2) 本学の特色

①教育理念・目標

②教育の特色

③設置学科・専攻など

④学生の現況と進路

⑤教員の現況

⑥地域貢献活動

3) 大学改革等10年のあゆみ

①教育面の取組

②研究面での取組

③教育環境（施設含む。）の整備

4) 今後の展望

5) その他

○短期大学を巡る文教政策の変遷（文部科学省）

○公立短期大学協会10年の歩み

・会員校の推移（統計データ）

・年度別会員校一覧

・役員等の推移

会長・副会長 理事・監事 顧問・相談役 事務局長

- ・協会の活動状況
 - 年度別諸会議の開催（総会・理事会・研修会等）
 - 協会の所信表明等
- ・公短協の財政状況
- ・会則など

【第5回70周年記念事業実施委員会】

1. 日 時 令和3年10月8日（金）13:40～14:00

＜第4回正副会長会議終了後に開催＞

3. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務室

3. 出席者

委員長 柳沢 幸治 様

委 員 村井美代子 様

委 員 阿部 宏慈 様

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

4. 議 案

(1) 公立短期大学教育70周年記念誌について

(2) その他

【第6回70周年記念事業実施委員会】

1. 日 時 令和3年12月17日（金）13:40～14:00

＜第5回正副会長会議終了後に開催＞

2. 開催方法 オンライン会議（Zoomにて開催）

ホスト会場は、公短協事務室

3. 出席者

委員長 柳沢 幸治

委 員 村井美代子

委 員 阿部 宏慈

会長校事務局長 小坂 充

公短協事務局長 塚越 義行

4. 議 案

- (1) 公立短期大学教育70周年記念誌について
- (2) その他

【第7回70周年記念事業実施委員会】

1. 日 時 令和4年2月21日(月) 13:30～14:00
(正副会長会議終了後に開始)
2. 開催方法 オンライン会議 (Zoomにて開催)
ホスト会場は、公短協事務室
3. 出席者
委員長 柳沢幸治
委 員 村井美代子
委 員 阿部宏慈
大月短期大学 事務局長 小坂充
山形県立米沢女子短期大学 事務局長 佐々木紀子
三重短期大学 事務局長 溝田久孝
全国公立短期大学協会 事務局長 塚越義行
4. 議 案
1. 公立短期大学教育70周年記念誌について
2. その他

<資 料>

- 記念誌の作成日程・印刷部数・送付先について
＜＞書きは、決算ベースを付記したもの。

1. 作成日程

- ① 会員校への原稿依頼日 令和3年6月21日
原稿提出依頼日 8月21日(提出締め切り日)
最終取り纏め日 11月8日
- ② 文科大臣祝辞依頼日 令和3年7月14日
総務大臣祝辞依頼日 7月14日
文科大臣祝辞受信日 8月30日

総務大臣祝辞受信日 11月22日

③ 印刷会社に依頼日 令和3年11月22日(校正3回見込み)

最終校正完了日 令和4年2月25日(予定)

④ 印刷完了日 3月16日(予定)

発送日 3月22日(予定) <3/18 発送完了>

2. 印刷部数・送付先(概要)

会員校 各3冊×14校 = 42冊(60周年と同様です。)

設置者(県市) 各1冊×7機関=7冊

短大部の4大本部 各1冊×5大学=5冊

顧問・元相談役 9冊

文科省 7冊(大学振興課ほか、講師派遣課等)

総務省 2冊(財務調査課等)

関係団体 8冊(国・公・私大、私短大協会、基準協会等)

国会図書館納本 1冊

文部科学省図書館 1冊

その他関係者 8冊

公短協保存用 10冊

合計 100冊<実印刷数110冊>

○ 記念誌の作成に要する経費について(見込み額)

① 資料整理謝金(1人;交通費含む。)

令和3年8月分 12日(1日平均6時間) 107,396円

令和3年9月分 10日(1日平均6時間) 87,980円

令和3年10月分 12日(1日平均6時間) 102,196円

合計 297,572円<決算額と同じ>

② 印刷製本費(株)美巧社 東京支社

100部 280,000円

消費税 28,000円

合計 308,000円<決算額383,405円>

③ 発送費(見込み)

会員校 14校

設置者(県市) 7機関

短大部の4大本部 5大学

顧問・元相談役 9冊

総務省	1
関係団体	8 (国・公・私大、私短大協会、基準協会等)
国会図書館納本	1
合計	45 団体宛て発送

レターパック @520 円×45=23,400 円

送料合計 23,400 円<送料は印刷製本費に含
めて計上>

2. 研修会

1) 第52回事務職員中央研修会

全国公立短期大学協会（会長：柳沢幸治 大月短期大学学長）では、令和3年9月2日（木）～3日（金）の2日間、オンラインにより31名が参加して第52回公立短期大学事務職員中央研修会を開催した。

第1日目は、午後1時15分に開会し、柳沢会長挨拶につづき文部科学省大学振興課課長補佐加藤善一氏から挨拶があり、大学振興課短期大学係主任東尚平氏による「短期大学制度及び短期大学を巡る文教政策の状況について」の丁寧な説明が行われた後、質疑が行われた。

第1部の「情報交換会」では、助言者に大学振興課短期大学係主任東尚平氏ほかの参画を得て、研修生の司会進行で進められ、各校から提出された「学務・学生支援関係」及び「大学が当面している課題」等について各校の発表を巡って熱心な情報交換と協議が行われた。

第2日目、午前13時20分からの第2部及び第3部の「情報交換会」では、新型コロナウイルス対応に関連した「学務・学生支援関係」及び「管理運営関係」について、助言者に大学振興課課長補佐加藤善一氏及び短期大学係主任東尚平氏ほかの参画を得て、研修生の司会進行で進められ、授業における感染予防や経済的に困窮する学生の就学支援など様々な課題と対策を巡って熱心な情報交換と協議が行われた。

行政説明では、学術研究助成課企画室室長補佐吉田正男氏による「科研費の最近の動向につ

いて」、学生・留学生課厚生係長田村洋貴氏による「学生支援を巡る状況について」、大学振興課大学入試室入試第三係長岡陽介氏による「大学入学者選抜改革等の動向について」、それぞれ、資料に基づき丁寧な説明・解説が行われた後、質疑が行われた。

午後１６時５０分に、助言者の加藤補佐ほかから助言と講評があり、柳沢会長の挨拶をもって研修会を終了した。（了）

日程＜会員校参加者は Zoom にて参加＞

	時間	講義題目	講師
第一日目	12:45～	Zoom ミーティング 準備	
	13:15	開会	(司会:公短協事務局長)
	13:20 ～14:00	会長挨拶・講話	全国公立短期大学協会 会 長 柳沢 幸治
	14:00	「文科省挨拶」	大学振興課 課長補佐 加藤 善一 氏
	14:05 ～14:40	「短期大学制度及び短期大学を巡る文教政策の状況について」	大学振興課 短期大学係主任 東 尚平 氏
		休憩(10分)	
	14:50 ～15:40	参加者自己紹介(業務上の課題紹介)	研修生(会津大学短期大学部事務室長 須釜)
	15:40 ～16:40	情報交換(1)(課題別) ＜その1＞懸案・取組事項	研修生(会津大学短期大学部事務室長 須釜)
	16:40	1日目終了	
第二日目	12:45	Zoom ミーティング 準備	
	13:20 ～14:00	1. 情報交換(2)(課題別) 2. ＜その2＞新型コロナウイルス対応事項	研修生(岐阜市立女子短期大学 総務管理課主査 伊藤)
	14:00 ～14:40	「科研費の最近の動向について」	学術研究助成課企画室 室長補佐 吉田 正男 氏
	14:40 ～15:20	「学生支援を巡る状況について」	学生・留学生課 厚生係長 田村 洋貴 氏
		休憩(10分)	
	15:30 ～16:10	「大学入学者選抜改革等の動向について」	大学振興課 大学入試室 入試第三係長 岡 陽介 氏

	16:10 ～16:50	情報交換(3)(課題別) ＜その2＞新型コロナウイルス関連事項 ＜その3＞授業目的公衆送信補償金制度	研修生(岐阜市立女子短期大学 総務管理課主査 伊藤)
	16:50	閉会 挨拶 1 挨拶 2	1 大学振興課 課長補佐 加藤 善一 氏 2 全国公立短期大学協会 会 長 柳沢 幸治

参加者名簿

短期大学名	課・係/職名	氏名
岩手県立大学宮古短期大学部	宮古事務局/主事	嶋崎 悠
岩手県立大学盛岡短期大学	教育支援室/主事	角舘 一美
	教育支援室/主事	佐藤 綾音
会津大学短期大学部	事務室長	須釜 清治
	主任主査兼学生係長	長峯 由美子
	主事	大槻 亮太
川崎市立看護短期大学	総務学生課・総務担当/主任	神 幸雄
大月市立大月短期大学	教務学生担当/主査	森屋智恵美
	総務担当/主任	鹿島 聖
	キャリアラボ担当/会計年度任用職員	小林 一也
岐阜市立女子短期大学	総務管理課/主査	伊藤 瓢介
	総務管理課/主任	林 佑樹
	総務管理課/主査	河村 豊
静岡県立大学短期大学部	総務室	松井 基幸
	総務室	出口 七海
	学生室	高橋 剛

静岡県立農林環境専門職大学短期大学部	総務企画課/班長	森井 智之
	教務課/班長	田林 大介
	学生課/班長	古川 久美子
三重短期大学	大学総務課/総務担当主幹（兼） 地域連携センター担当主幹・学生部教務学生担当主幹	酒井 健
	学生部/教務学生担当副主幹	大野 維佐子
島根県立大学短期大学部	教務学生課/主任	藤原 晃治
倉敷市立短期大学	事務局/局長代理	板谷 和俊
	学生部/主幹	吉田 智子
	学生部/主任	梶谷 恵子
大分県立芸術文化短期大学	教務学生部/副主幹	橋本 展幸
鹿児島県立短期大学	学生部教務課長	山下 誠
	学生部教務課主幹	増田 浩一
	学生部学生課長補佐	田島 康浩
公短協	会長	柳沢 幸治
公短協	事務局長	塚越 義行
公短協	事務局員	中村 康子

2) 第40回幹部研修会

全国公立短期大学協会（会長 柳沢幸治；大月短期大学長）は、令和4年1月26日（水）に、ウェブ会議により、学長、学部長、事務局長等41名の参加による「第40回幹部研修会」を開催した。

研修会は、「講演」と「意見交換会」の2部構成で実施された。

<講演>の部では、柳沢会長の挨拶につづいて大学振興課長新田正樹氏から挨拶につづいて「高等教育を巡る文教政策」について、都道府県別学生の流入・流出状況や公立大学・短期大学入学志願動向や、交付税措置における経済的困難な学生のための授業料減免の運用状況と課題等について説明が行われた。

社会教育振興統括官（地域学習推進課長）根本幸枝氏からは「地域と大学の連携」について、生涯学習・社会教育施策の最近の動向や、大学等と社会教育の連携（SBC、COC+R など）等について事例を挙げての説明があった。

学術研究推進課企画室長高見沢志郎氏からは「科研費の最近の動向」について、科研費事業の最近の制度改善と次年度に向けた検討や科研費の管理と適正な執行・不正防止などについて説明があった。

大学入試室室長補佐中村栄作氏からは、「大学入学者選抜の動向」について、新型コロナウイルス感染症対応の令和 4 年度限りの例外措置について、一人の受験生も受験機会を失うことのないよう受験機会のさらなる確保についての具体的な対処方針や、令和 7 年度入試に向けた実施大綱の予告等について説明があった。

「コロナ禍の学習環境」では、大阪大学全学教育推進機構教育学習支援部（教授）村上正行氏、（特任講師）浦田悠氏を講師に招いて、コロナ禍の様々な学習形態を前提にしつつ関西ラーニングコモンズをはじめ、阪大ブレンデッド教育、ハイフレックス授業、オンライン授業での留意すべき 25 の原則などについて事例や実践に基づく講演が行われた後、質疑が行われた。

<意見交換会>の部では、会員校からの提案協議題を 3 部構成にして進められ、第 1 部「大学基金の設置状況等」、「コロナ禍での学生の国際交流」については山形県立米沢女子短期大学学長阿部宏慈氏が、第 2 部「教員の評価・報酬に関わる人事制度」については大月短期大学キャリア企画部長佐藤茂幸氏が、第 3 部「教員退職時の研究室資料の扱い」については三重短期大学学長村井美代子氏がそれぞれ進行役となって活発な協議が行われた。

研修会終了時には大学振興課課長補佐加藤善一氏から助言と挨拶があり、最後に柳沢会長の挨拶で閉会となった。

日程＜会員校参加者は Zoom にて参加＞

時間	内容	講師等
9:30～	Zoom ミーティング URL 送信	
10:00～ 10:15	Zoom 参加者の確認等	事務局
10:15～ 10:20	開会の挨拶	会長 柳沢 幸治 (大月短期大学長)
10:20～ 11:00	挨拶・講義 高等教育を巡る文教政策	文部科学省高等教育局 大学振興課長 新田 正樹 氏

11:00～ 11:40	講義 地域と大学の連携	総合教育政策局 地域学習推進課長 根本 幸枝 氏
11:40～ 12:50	(昼食・休憩)	
12:50～ 14:10	○意見交換会 会員校からの「意見交換会 提案協議事項」 (3部に分けて実施)	会員校研修参加者
14:10～ 14:50	講義 科研費の最近の動向	研究振興局 学術研究推進課 企画室長 高見沢 志郎 氏
14:50～ 15:10	休憩 (20分)	
15:10～ 16:10	講演 コロナ禍の学習環境	大阪大学 全学教育推進機構教育学習支援部 教 授 村上 正行 氏 特任講師 浦田 悠 氏
16:10～ 16:50	講 義 大学入学者選抜の動向	高等教育局 大学振興課 大学入試室 室長補佐 中村栄作 氏
16:50～	閉会の挨拶	文部科学省 大学振興課 課長補佐 加藤 善一 氏 会長 柳沢 幸治 (大月短期大学長)
17:00	解散	

参加者名簿

	短期大学名	役職名	氏名
1	岩手県立大学宮古短期大学部	学部長	松田 淳
		宮古事務局長	高橋 栄治
2	岩手県立大学盛岡短期大学部	学部長	川崎 雅志
		生活科学科長	長坂 慶子
		国際文化学科長	原 英子
		総務財務課長	西川 信明

		教育支援課長	大内 玲子
		入試課長	柴田 勝師
		学生支援課長	小島 清子
		研究・地域連携課長	和川 央
		企画室長	北島 太郎
		主幹	正部家 忍
3	山形県立米沢女子短期大学	学長	阿部 宏慈
		事務局長	佐々木 紀子
4	会津大学短期大学部	短期大学担当次長	青木 浩司
5	川崎市立看護短期大学	事務局長	高岸 堅司
6	大月短期大学	学長	柳沢 幸治
		教務部長	槇平 龍宏
		学生部長	内藤 敦之
		キャリア企画部長	佐藤 茂幸
		事務局長	小坂 充
7	岐阜市立女子短期大学	学長	畑中 重光
		事務局長	久米 規文
		事務局主幹	池戸 弘一
8	静岡県立大学短期大学部	短期大学部部長	佐々木 隆志
		事務部長	和田 誉雄
		総務室長補佐	松井 基幸
9	静岡県立農林環境専門職大学 短期大学部	学長	鈴木 滋彦
		学科長	竹内 隆
		事務局長	井口 真彦
10	津市立三重短期大学	学長	村井 美代子
		事務局長	溝田 久孝
11	島根県立大学短期大学部	副学長	岸本 強
		短期大学部長	梶谷 朱美
		事務部長	吉村 勉
12	倉敷市立短期大学	学生部長	眞次 浩司
13	大分県立芸術文化短期大学	事務局長	岩崎 栄
		教務学生部グループリーダー	神崎 大介
14	鹿児島県立短期大学	事務局長	吉松 康雄

	公短協	事務局長	塚越 義行
	公短協	事務職員	中村 康子

3. 公立短期大学実態調査の実施及び同報告書の発行

調査表は昭和 39 年から作成しており、①学生、②教職員、③外国の大学との交流、④図書館並びに福利厚生施設、⑤大学予算等、⑥地域貢献等、⑦男女共同参画社会、⑧教員の定年・任期制等の状況、⑨四年制への転換又は再編統合・改組等の検討状況、⑩公立短期大学で取得可能な免許・資格等、⑪認証評価の実施状況の 11 項目。なお、報告書の参考資料には、文部科学省調査「学校基本調査」及び「学校基本調査速報」から公立短期大学関連データを抽出して収録。

「報告書」（第 58 集・A 4 版、154 頁）は、本協会で印刷・製本し、令和 2 年 1 2 月に各大学に送付するとともに関係機関に配布した。また、公立短期大学協会ホームページにも掲載した。

4. 情報収集・情報提供活動

1) ホームページの作成・管理

平成 2 9 年 1 1 月からは、広報委員会ワーキング（H28.7～H30.4）において設計された「公短協ホームページ」により、協会概要のほか公短協からの発信情報、会員校の概要紹介、また、高等教育に関連した審議会「答申」、大学行政に関連する最新ニュースやお知らせのほか総会、理事会、研修会等の開催結果を掲載し会員校に周知を図っている。なお、令和 3 年度からは会員専用ページを設け、総会・研修会等の講演資料などを掲載して情報共有を図っている。

2)関係機関等への意見表明

●自由民主党政務調査会 文部科学部会「教師の養成・採用・研修・支援について」
提言とりまとめに向けた要望

令和3年4月16日

自由民主党 政務調査会 文部科学部会
部会長（参議院議員）赤池 誠章 様

団体名： 全国公立短期大学協会

1. 教師の養成段階（大学等における教員養成と免許制度等）について

- 令和3年3月12日の中教審への諮問にあるように「教師の養成の高度化」の必要性については十分理解しているが、一方において、いろいろな階層や様々な社会分野からの多様な人材によって教員が構成されることは重要であり、今後とも、短期大学における教員養成課程（幼・小・中学校二種等）を教師の養成段階に位置付けていただきたい。
- 令和3年1月26日の中教審答申の「協働的な学び」や「実践的指導力」の養成段階の方策」として、学生が主体的に考え、人と協働することの大切さやそのために必要な知識・態度について学びを深められる実践的な科目の設定を提案する。
- 同答申で求められている教員組織の「総合的人間力、コミュニケーション能力」の養成段階の方策として、学生が自ら進んで地域社会に出かけ、ボランティア活動や社会貢献活動、自治会活動等への参画機会を増やすこと。さまざまな人と関わり対人関係の経験をするための「社会経験・体験」の科目を設けることを提案する。
- 教員の業務は、給食や休み時間、清掃、部活の運営指導などにも及び広範で多忙なことが指摘され、このことは、平成31年1月25日に中教審答申が出され教育現場には周知されているが、養成段階においても、教育現場における実務に必要な実践的な知識や技能を体系的に整理し、しっかりと身につけさせることを提案する。

2. 教師の採用段階（教育委員会等における教員採用等）について

- ICT 担当教員や外国語活動などに対応するために、特別免許状制度の積極的な活用や小学校教員資格認定試験を充実させ社会人登用してはどうか。
- 現職教員が I ターンや U ターンする場合においては、教員採用試験を免除するなど弾力的な採用方法を検討してはどうか。

3. 教師の研修段階（現職教員に対する研修、免許更新制等）について

- 免許更新制については、大学等によって教授内容や評価基準にばらつきがあることの改善が必要と考える。また、いわゆる「うっかり失効者」が相次いでいることから、制度運営上の工夫が必要と考える。
- 学校の教員組織においては、教員の多忙化が人間関係の希薄化に拍車をかけている状況もあり、後輩をどう育てたらよいかや、同僚間の信頼をどう構築するのかについて実践的に学ぶ機会が少ないと考える。よって、現職教員に対する研修では、同僚性に関する研修が重要であると考え。
- 初任者研修に関しては、新卒 1 年目から担任を持たせることを思い切って止めて、1 年目を研修期間にあててはどうか。養成段階で学んだことと現場とのギャップがもたらす否定的影響の軽減や、その後の担任業務へのスムーズな移行などの効果が期待できる。
- 今後とも、初任者研修や中堅職員研修などを含め、5 年に 1 回は、研修等が必要と考える。

4. 教師の支援、環境整備について

- 小中高等学校教員が学生指導に専念できるように、School Social Worker（スクール ソーシャル ワーカー：社会福祉士）を常勤として配置する制度（規定）を整備することを提案する。特に不登校生徒の支援について非常勤のスクールソーシャルワーカーでは、その業務を担うことに限界がある。
- 基本的に教員の負担が重すぎる。長時間労働や、給与満足度の低さをはじめとする処遇の改善が必要。また、小 1 プロBLEM をかかえる小学校第 1 学年担任への支援が求められる。

● 公立短期大学に対する地方交付税措置についての要望書

公短大協第 11 号
令和 3 年 7 月 20 日

総務大臣 武田 良太 殿

全国公立短期大学協会

会 長 柳沢 幸治

平素は公立短期大学の振興・助成につき御配慮を賜り、徐々に施設・設備等の整備が進み、加盟する各公立短期大学の教育研究機能を向上させることができ、感謝申し上げます。

公立短期大学は、地方自治体における身近な高等教育機関の一つとして、また、地域と連携・協力して多様な学習機会を提供し、地域における知識基盤社会の土台づくりの場として設置・運営がなされており、関係者一同の懸命な努力により、地域社会に貢献できる高度な知識・技芸を修得し人格を陶冶した有為な人材の育成に努めてきております。

現下の厳しい社会経済情勢のもと、授業料等の減免措置等の支援なしでは教育を受ける機会が得られない学生が増える状況にあり、また、地方自治体の財政事情もあって、公立短期大学を巡る財政は厳しい状態にあります。

我が国の厳しい財政状況は承知しておりますが、地方における公立短期大学の役割と大学を取り巻く財政の実情を御賢察下さいまして、令和 3 年度の予算編成に際しましては、引き続き、公立短期大学の教育研究機能の向上を支える地方交付税措置等に関し、国において格段の理解ある財政援助措置を取り計られるよう要望いたします。

要 望 事 項

○公立短期大学に対する地方交付税の拡充について

基準財政需要額の教育費（短期大学）にかかる単位費用の引き上げ改善について格別の御配慮を要望する。

○自治体と連携して地域活性化に取り組む公立短期大学に対する支援の充実について

地方大学を活用した雇用創出・若者定着の促進など、自治体と連携して地域活性化に取り組む公立短期大学に対する支援（国庫支出金の在り方、地方交付税等地財制度等）の継続・充実を要望する。

●平成 30 年告示高等学校学習指導要領に対応した大学入学共通テストにおける出題科目『情報Ⅰ』の経過措置について（回答）

公短大協第 16 号
令和 3 年 8 月 20 日

独立行政法人大学入試センター
理事長 山本 廣基 殿

全国公立短期大学協会 会長 柳沢幸治

日頃から、公立短期大学における入学者選抜については、ご指導ご助言をいただき厚く御礼申し上げます。

さて、令和 3 年 7 月 26 日付入試セ企第 44 号にて照会のあった標記のことについて、下記のとおり回答します。

記

【A 案について】

基礎的な学習の達成度の把握は、受験生の教育課程に関わらず、公平で適正な方法であることが不可欠である。

共通テストの出題科目『情報Ⅰ』を課す大学に、旧教育課程履修者への経過措置を任せただけでは、各大学によって配慮が異なることも想定され、旧教育課程履修者が不利益を受ける可能性がある。

よって、公平性、妥当性の面から、共通テストにおいて経過措置問題を作成し受験させることが適当と考える。

【B 案について】

旧教育課程の「社会と情報」及び「情報の科学」と新教育課程の『情報Ⅰ』では、教育の目標や内容が大きく異なるため、『情報Ⅰ』と経過措置問題とでは試験問題の内容が異なってくるという点が問題である。

よって、『情報Ⅰ』を課す大学において、旧教育課程履修者が不利とならないよう配慮するとともに、受験者に対して『情報Ⅰ』の扱いについて丁寧な情報提供を行うことが望まれる。

この場合において、各大学によって配慮に大きな差異が生じないよう、一定の基準を示されることが必要と考える。

●審議まとめ（案） — 「令和の日本型学校教育」を担う新たな教師の学びの姿の実現に向けて — に関する意見募集の実施について

令和3年10月1日付け

総合教育政策局教育人材政策課からの意見提出依頼（パブリックコメント）

（提出意見なし）

●業界における女性の活躍促進チームアンケートの回答

令和4年2月11日（金）

内閣府 男女共同参画推進連携会議 宛て

Q1 貴団体では、2022 年度における男女共同参画に関する計画・戦略は策定されますか？

「いいえ」

【本団体で男女共同参画に関する計画・戦略を策定していない理由】

本団体会員は、14の公立短期大学です。また本団体の設置の目的は、「公立短期大学の連絡を密にし、その協力によって、公立短期大学の健全な発展をはかること」としております。

設置者は都道府県や市であり、また法人組織化されている短大や「直営」の短大など様々ですが、設置者各々が男女共同参画に関わる担当部局や審議会を設け、各々が男女共同参画に関する計画・戦略を策定しています。会員校の短期大学専任教員が、そうした審議会等の委員となって意見を述べるケースも散見されます。

各短期大学では、こうした設置者の計画・戦略を十分に認識・理解し、それを基本とした上で、大学独自の運営方針をもとに高等教育機関としての責務を果たしています。各地方自治体及び各公立短期大学の運営の自治を尊重するためにも、団体としての一つの計画・戦略は策定しておりません。

なお、内閣府から本団体にご提供頂く情報等については、会員校に伝達し、情報共

有しております。また、春と秋に開催される本協会年次総会において、委員となっている会員校から、男女共同参画推進会議における議論の内容や提供された資料等について報告を行い、それぞれの短期大学における男女共同参画の推進に努めております。

Q2 Q1 において、KPI は設定されますか？

「いいえ」

【本団体に KPI を設定していない理由】

本団体会員は、14 の公立短期大学です。設置者は都道府県や市であり、また法人組織化されている短大や「直営」の短大など様々ですが、設置者各々が男女共同参画に関わる担当部局や審議会を設け、各々が男女共同参画に関する計画・戦略を策定しており、その計画・戦略に基づいて KPI が設定されています。会員校の短期大学専任教員が、各地方自治体の審議会等の委員となって計画・戦略の策定及び KPI の設定に関して意見を述べるケースも散見されます。

また各短期大学では、こうした設置者の計画・戦略及び設定された KPI を十分に認識した上で、大学独自の運営方針をもとに高等教育機関としての責務を果たしています。各地方自治体及び各公立短期大学の運営の自治を尊重するためにも、団体として策定された一つの計画・戦略に基づく KPI の設定はしておりません。

Q3 Q1、Q2 の実現にあたり、連携会議を通じて助言、サポートを希望しますか？

「希望する」

【連携会議を通じて助言、サポートを希望する内容】

短期大学におけるキャリア教育等に活用できる、主に就職を控えた学生向けの、各種業界におけるジェンダー問題の実態、及びその解決に向けた男女共同参画への取り組み事例の提供を希望します。

本団体会員は 14 の公立短期大学です。卒業後は四年制大学へ編入学する学生も一定数あるものの、大半の学生が地方自治体や各種団体、一般企業へ就職します。2年間の在籍中、講義や実験・実習、ゼミやクラブ・サークル活動等においては、共学・女子短大いずれの場合も、男女格差やジェンダー問題を直接的に強く実感する場面が少ないのが現状です。卒業後の社会人としての意識改革のためにも、上記の資料提供を活用したいと思います。

Q4 他の連携会議参画団体が、Q1、Q2 を実現するにあたり、貴団体から助言・サポートは可能ですか？

「可能」

【本団体ができる助言・サポート】

設置者は都道府県や市であり、また法人組織化されているものや「直営」のもの等様々ですが、本団体会員は 14 の公立短期大学です。地方自治体等における啓発活動や、各種委員会等における教員の協力、カリキュラムへの関連授業科目の開設やその内容等については情報提供可能です。

3) 会員校間における情報交換

(1) 大学等(会員校)における令和 3 年度後期授業の実施方針等について(調査)
＜掲載略＞

(2) 総会・研修会等における情報交換

区分	調査項目・内容	結果の公表
「公立短期大学 実態調査表」 (令和3年版) ＜再掲＞	①学生について ②教職員について ③外国の大学との交流について ④図書館並びに福利厚生施設について ⑤大学予算等について ⑥地域貢献等について ⑦男女共同参画社会について ⑧教員の定年・任期制等の状況について ⑨四年制への転換、再編統合・改組等の検討状況について ⑩公立短期大学で取得可能な免許・資格等について ⑪認証評価の実施状況	R3.12 会員行 へ発送。 ホームページ にも掲載
第 71 回(春季) 通常総会研究 協議	①高等教育の修学支援新制度による入学金・授業料の減免対象者数及び徴収方法について (大月市立大月短期大学) ②地元学生の優遇及び地元就職への取り組みについて (倉敷市立短期大学)	通常総会資料として配布・意見交換

第 71 回(秋季) 通常総会研究協 議議題	①就職活動の早期化に対して、どのような対応をしているのか。もしも特別な対応をしているなら、その実情をお教え願いたい。(大月短期大学) ②就職志望の学生の希望調査をすると、事務職や公務員などの希望が圧倒的に多い。現実には、事務職という職種がない事を、どのような手段で学生に理解、納得させているのか、貴学の就職希望者の動向とともに、学生の就職希望の修正に関して、何かノウハウがある場合にはその手法をご教授願いたい。(大月短期大学) ③ゼミの合宿地で、どの程度の範囲までを許可しているのかお教え願いたい(例えば、沖縄とか)。また、その際、補助金等を援助しているのか否かをお教え願いたい。(大月短期大学) ④現在の、対面授業と遠隔授業の割合を教えてくださいとともに、遠隔授業(ハイブリットを含めて)で成功した事例があったなら、ご教授願いたい。(大月短期大学) ⑤学位授与方針に明示した学生の学習成果の測定方法について: 今後の自己点検評価及び認証評価では、学位授与方針に明示した分野の特性に応じた学習成果のより適切な測定が求められ、内部質保証の観点からも、より明確な達成度の把握や指標の開発が必要と考えます。 本学では現在、学習成果の確認のために、「学生による授業評価アンケート」、「卒業生満足度調査」、「学長と学生の懇談会」、「卒業研究(卒業論文・卒業作品)発表会」、「卒業研究論文集」作成、「フィールドワーク報告会」などを実施しています。 学習成果のより適切な把握のために、アセスメント・テストの実施やルーブリックの活用など、各大学で実施されている取り組みや工夫をご教示いただきたく思います。(三重短期大学)	通常総会資料として配布・意見交換
第 40 回幹部研修会	①大学基金の設置状況等について	幹部研修会資料として配布・意見交換

	本学では平成 29 年に「山形県公立大学法人基金」を設置し、基金への寄附を募り、教育の充実や学生支援などの事業に活用することとしている。大学のホームページに基金の概要・寄附金の募集等について掲載するなどし、周知に努めているところであるが、基金の認知拡大、寄附金の確保が課題となっている。各大学における基金の設置状況及びその周知方法、寄附金確保の方策についてご教示いただきたい。（山形県立米沢女子短期大学） ②コロナ禍で海外との往来ができない今、どのように学生の国際交流を推進しているのかご教示いただきたい。 本学では、海外に渡航して行う「異文化理解実習」という科目を設定しているが、コロナ禍になり開講できず、思うような国際交流が行えていない。具体的な国際交流事業をご教示いただければ幸いです。（山形県立米沢女子短期大学） ③教員の評価・報酬に関わる人事制度の概要について教えてください。 本学においては、教員の評価・報酬の人事制度は、ほぼ「年功的」に運用されています。こうした年功評価は、相互扶助的な業務運営が叶う一方で、仕事量や業績に見合った評価がないことによる、若手・中堅教員を中心としたモチベーションの低下が心配されます。 そこで、皆様の大学においては、どのような評価制度を採用されているのか、差しさわりのない範囲で、情報共有させていただきたく存じます。ちなみに、本学では、下記のような人事制度をとっておりますが、結果的に年功的になり人事の停滞が懸念されるようです。 【大月短大の評価制度の概要】 ・ 基本的な人事(報酬)資格制度は、市役所の職能資格制度に基づく賃金テーブルを適応している。 ・ 昇任評価は、准教授・教授の資格審査を、研究・教育・行政能力の基準に照らして、教授会で決定する。 ・ 役職手当として、学長・部長職(教務、学生、図書館、キャリア)がある。部長職の任命は、学長が行う。 【お聞きしたい項目】	
--	--	--

	・ 教員評価の基本的な考え方 ・ 昇進・昇給のルール ・ 役職手当・報奨制度等 ④附属図書館資料の廃棄・除籍方法や関連規程、および専任教員退職時の研究室資料の取り扱いについて 本学附属図書館の資料収容スペースに余裕がなくなってきたこともあり、傷みの激しい資料や電子化されている紙ベース資料などの廃棄・除籍方法を検討中です。各大学での対処方法について、また関連規程等があればご教示いただきたく思います。 あわせて、教員研究費（市費）で購入された研究室資料について、専任教員退職時の取扱いについてもご教示いただきたく思います。（三重短期大学）	
--	--	--

第 52 回公立短期大学事務職員中央研修会課題提案	<その 1> (イ) 学務・学生支援業務関係 ① 時間割の組み方について 毎年時間割と教室調整に苦勞しているため、他大学では時間割をどのように組んでいるか(時間割を組んでいく上でのルールや優先順位を決めているかどうか等)を伺いたい。(宮古短期大学部) ② 経済的に困難な学生に対する経済的支援について、大学独自の支援がありましたら、 ・支援の内容、 ・利用実績についてご教示ください。 また、規定等がある場合は、ご提供ください。 (倉敷市立短期大学) ③ 令和 2 年度からの授業料減免と給付型奨学金を組み合わせた就学支援新制度の導入に伴い、県独自の授業料減免制度が一部廃止された結果、給付奨学金と授業料減免を受けた後、成績要件で廃止となった学生が、次年度に授業料減免が受けられず、それを救済する制度もない状況に至っている。 他方、在学生で従来の県独自の成績要件のない授業料減免制度を受けられている学生との間に不均衡が生じている。 他大学の状況をお聞きすると共に、就学支援新制度で成績要件により廃止された学生の救済制度・補完する制度があればご教示願いたい。(鹿児島県立短期大学) (ロ) 管理・運営関係 ① 働き方改革推進法施行に伴う教員の勤怠管理方法について 本学では、教員の労働時間の把握の方法として、「自己申告による把握の方法」に拠っています。具体的にはエクセルにて勤務記録表を作成し、出勤：退勤時間を入力し事務室に提出する流れです。なお、今後教員に対しても PC やタイムカードによる勤務時間の把握の方法に切り替わる予定ですが、裁量労働制対象である教員からの反発も懸念されるところです。 そこで、各短期大学での教員の労働時間の把握方法についてご教示いただきたい。(会津大学短期大学部)	
----------------------------------	---	--

	②本学の医務室にはベッドが1台配置してありますが、横になる必要がある体調不良の学生が複数になった場合、医務室以外では和室を利用するしかなく、布団を敷いて対応しています。 ただ、満床状態での新たな受け入れが生じた場合にどう対応するか検討しています。 各校の医務室のベッド配置状況及び学生への対応について御教示をお願いします。(三重短期大学) (ハ)大学が当面している課題 ①短期大学の存在意義(二年制教育のメリットについて) 四年制大学に併設されている短期大学は、高校側からみると四大が主役、短大が脇役に捉えられがちで短大の認知度が低く感じる。四大に埋没しないような短大のオリジナリティ、二年制教育のメリットについて、意見を伺いたい。 本学では四年制学部と合わせて高大連携事業を通して入学案内の配布・教職員による入試広報を行っているが、高校生の多様な要望に応えるため、電子媒体の有効活用等によって、従来の対面型の事業を見直す必要があると感じている。 どの様な入試広報を行っているか、特に、省人化・SNSやオンラインの活用事例があれば伺いたい。(盛岡短期大学部) (ニ)災害への対応状況 ①学生の通学範囲が広く(ほぼ静岡県全域)、大学の定める時刻での判断では、緊急連絡の徹底が難しい場合がある。また、遠方から来学する非常勤講師への連絡も通勤時間や手段の確認も含め、緊急の対応が求められる。連絡手段等について、工夫されていることがあれば伺いたい。(静岡県立大学短期大学部) <その2> 新型コロナウイルス関連事項 ①就職の動向について コロナによる影響で、求人や学生の就職状況(内定率や就職先等)に変化があれば伺いたい。(宮古短期大学部) ②学生共有スペースでの感染対策 学生が共有で使用する教室(パソコン室等)の感染対策について、具体的な取り組みを聞きたい。	
--	---	--

	また、ルールが疎かになってしまう学生に対しての対応についても伺いたい。(盛岡短期大学部) ③学園祭等イベントの開催について ・地域住民からの理解を得るため、コロナ対策をした上で、イベントや交流会等、実施していることはあるか。 ・学年の違う学生間の交流の機会が持ちにくい。何か工夫していることはあるか。(静岡県立農林環境専門職) ④寮で罹患者が発生した場合の対応について 今後感染状況が拡大して寮で罹患者が発生した場合にどのように対応するか、他大学での事例や決めていること等を伺いたい。(宮古短期大学部) ⑤高大連携事業における、対面実施の事業の実施について 対面で行う事業の実施状況・高大連携事業における県外者の受け入れ状況・代替事業など具体的にどのように取り組んでいるか(盛岡短期大学部) ⑥新型コロナウイルスワクチン接種について 学生・教職員のワクチン接種済者について、 ・全体に対する割合(概数で可), ・接種方法(自治体接種, 職域接種など) を把握されていたら、ご教示ください。(倉敷市立短期大学) <その3> 「授業目的公衆送信補償金制度」の利用状況について (次の別表のとおり。)	
--	--	--

(別表)「授業目的公衆送信令補償金制度」の利用状況(概況)

＜令和４年３月現在の状況は巻末資料２として掲載＞

(令和３年９月時点の状況)

大学名	課題及び内容
岩手県立大学 宮古短期大学部	①利用人数 210 人 ②補償金額 83,160 円
岩手県立大学 盛岡短期大学部	①利用人数 217 人 ②補償金額 171,864 円
会津大学短期大学部	①利用人数 在学生 293 名(2021.5.1 時点) 公開講座定員 210 名(6 講座) ②補償金額 金額については、把握していません。 (会津大学対応) ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 事務局サイドでは把握していません
大月市立大月短期大学	①利用人数 431 人 ②補償金額 341,352 円 ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 オンライン授業内で学生への予習復習に利用
岐阜市立女子短期大学	①利用人数 398 人 ②補償金額 315,216 円(720 円×398 人×1.1) ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 今後利用事例について調査予定の為、現時点では把握できていない。
静岡県立大学短期大学部	①利用人数 学生:283 人 履修証明プログラム:13 公開講座:10 ②補償金額 232,584 円 ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 オンライン講義・社会人講座・公開講座
静岡県立農林環境専門職 大学短期大学部	①利用人数 169 名 ②補償金額 133,848 円 ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 ・対面事業で使用する資料をメールで送信
三重短期大学	①利用人数 : 694 人 ②補償金額 : 547,272 円 ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 本学では、遠方に在住する教員の授業はオンラインによる遠隔授業を行っている為、著作物を用いて作成した教材にて授業する場合がある。
倉敷市立短期大学	教員及び学生から、利用の要望がないため利用していない。

大分県立芸術文化短期大学	①利用人数 876人 ②補償金額 693,792円 ③具体的な利用事例についてお聞かせください。 オンラインで、教員が著作物を掲載した教材を見せて授業をしている。
鹿児島県立短期大学	①利用人数 625人（5月1日現在の在学生数） ②補償金額 495,000円（上記による算定額） ③具体的な利用事例：今後調査予定

4) 後援名義の許可

年月日	申請者	内容(事業内容、期間)
公短大協第2号 令和3年4月21日	独立行政法人 大学入試センター	令和3年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会 (第16回) 期 間;許可日から令和3年5月22日(土) 講演内容;後援名義の使用
公短大協第3号 令和3年4月21日	全国大学コンソーシアム協議会	第18回全国大学コンソーシアム研究交流フォーラム 期 間;許可日から令和3年9月11日(土)まで 講演内容;後援名義の使用
公短大協第30号 令和4年3月17日	独立行政法人 大学入試センター	令和4年度全国大学入学者選抜研究連絡協議会大会 (第17回) 期 間: 許可日から令和4年5月28日(土) 講演内容;後援名義の使用

5. 外部機関の委員会等における活動(令和3年度)

(R4.3 現在)

名称	職名	氏名・所属	継続・推薦	任期等
【内閣府】 東京オリンピック・パラ リンピック競技大会組織委 員会 顧問会議顧問	顧問	柳沢 幸治 (大月市立短期大学長)	会長充て職	R3. 5. 27 ～ R3. 9. 30
【内閣府】 男女共同参画推進連携会議	議員	村井美代子 (三重短期大学学長)	理事から推薦	R1. 8. 16 ～
【文部科学省】 就職問題懇談会	委員	坂元 昇 (川崎市立看護短期大学学長)	会員校学長から 推薦	H29. 4. 1 ～
【〃】 大学設置・学校法人審議会 (大学設置分科会)	委員	村井美代子 (三重短期大学学長)	理事から推薦	R2. 4. 1 ～ R6. 3. 31
【〃】 大学ポートレート運営会議	委員	柳沢 幸治 (大月市立大月短期大学長)	理事から推薦	R2. 9. 1～ 2 年毎
【〃】 学生調査の実施に関する有 識者会議委員	委員	岸本 強 (島根県立大学短期大学部 副学長)	会員校学長から 推薦	R2. 4. 1 ～ R4. 3. 31
【大学改革支援・学位授与 機構】 運営委員会	委員	杉山寛行 (岐阜市立女子短期大学長)	会長充て職 (継続)	R2. 5. 15 ～ R4. 3. 31
【日本高等教育評価機構】 短期大学評価判定委員会	委員	村井美代子 (三重短期大学学長)	会員校学長から 推薦	H31. 4. 1 ～ R5. 3. 31
【著作物の教育利用に関す る関係者フォーラム専門委 員】① 【著作物の教育利用に関す る関係者フォーラム】②	委員	高柳良太 (川崎市立看護短期大学 准教授)	会員校から推薦	①H30. 11～ H31. 3 ②H31. 5～ R5. 3. 31

6 主な発信文書等一覧

令和3年度 第71回（秋季）通常総会以降 令和3年10月28日～令和4年3月31日

文書 号 数	日付	宛先	摘要	方法
	10月28日	会員各位	公益財団法人 大学基準協会 第8回 学長セミナーのご案内	MAIL
	11月5日	会員各位	全国産業教育振興大会(埼玉大会)の決議書	MAIL
	11月18日	会員各位	「後期授業の実施状況」の送付について	MAIL
	11月22日	協会 会長、副会長、 会長校 各事務局長	令和3年度 第5回正副会長会議の開催について(通知) 公立短期大学教育70周年記念事業実施委員会(第6回)の開催について(通知)	MAIL
23	12月3日	学長	第40回幹部研修について(通知)	郵送/MAIL
24	12月3日	文部科学省 高等教育局長 増子 宏 様	大学設置・学校法人審議会委員(大学設置分科会)の推薦	郵送/MAIL
25	12月14日	文部科学省 高等教育局長 増子 宏 様	第40回 幹部研修会【講師依頼】	持参
26	12月22日	大阪大学全学教育推進機構教育学 習支援部 村上教授 1、浦田特任講師 2	第40回 公立短期大学幹部研修会のご講演について(お願い)	MAIL
	12月24日	顧問、元相談役	令和3年度 公立短期大学実態調査表冊子の送付について	郵送
27	12月24日	学長	令和3年度 公立短期大学実態調査表冊子の送付について	郵送
	1月5日	総務省自治財政局財務調査課 財政健全化係長 鳥居甲禄 様	令和3年度 公立短期大学実態調査表冊子の送付について	郵送
	1月7日	会員校事務局長	全国大学生協連との懇談について	MAIL

	1 月 11 日	全国公立短期大学協会 会長	新年の挨拶(警察庁)	郵送
	1 月 20 日	会長、副会長、研修参加者	幹部研修会協議の進め方について(ご案内)	MAIL
	2 月 10 日	会員各位	春の交通安全運動の実施について協力要請	MAIL
	2 月 11 日	柳沢会長、阿部副会長 CC:村井副会長	アンケートへの回答について	MAIL
	2 月 14 日	会員各位	会議日程表(修正版)	MAIL
27	2 月 14 日	会長、副会長、事務局長	第 6 回正副会長会議について(通知)	MAIL
28	2 月 14 日	70 周年記念事業委員会 委員長、 委員、委員長及び委員の大学事務 局長	第 7 回 70 周年事業委員会 (開催通知)	MAIL
	2 月 15 日	事務局長	(依頼)R4 年版共通パンフレ ット進学ガイドについて	MAIL
	2 月 25 日	会員各位	聞く会	MAIL
	3 月 1 日	会員各位	春の全国交通安全運動(チ ラシ配布)	MAIL
	3 月 1 日	会員各位	ジェンダー統計ニーズ調査 (Web アンケート) へのご協 力依頼	MAIL
	3 月 4 日	会員各位	70 周年記念誌の送付につ いて	MAIL
	3 月 7 日	会員各位	令和3年における交通事故 の発生状況等について	MAIL
29	3 月 7 日	会長、副会長、事務局長	第 7 回正副会長会議につ いて(通知)	MAIL
	3 月 15 日	会員各位	図書館等公衆送信サービス についてのパブリックコメント	MAIL
	3 月 16 日	会員各位	「共同参画」令和4年3・4月 号の送付	MAIL
	3 月 17 日	会員各位	大学生のための冊子「ダメさ れない力」の紹介	MAIL
30	3 月 17 日	独立行政法人大学入試センター理 事長 山本 廣基 殿	後援名義使用許可書(入試 センター)	郵送

	3 月 22 日	会員各位	成年年齢引き下げ後に成年となる若年者に対する適切な対応の要請について	MAIL
31	3 月 23 日	会長、監事、会長校事務局長	令和 3 年度事業決算に係る監事監査について(通知)	MAIL
32	3 月 23 日	会長、副会長、理事、理事代理、監事、各役員校事務局長	令和 4 年度第 1 回理事会の開催について(通知)	MAIL
	3 月 25 日	会員各位	「経済構造実態調査」への協力依頼について	MAIL
	3 月 29 日	公益社団法人日本青年会議所インクルージョン推進委員会 副委員長 久田 様	献血受入れ状況のヒアリングについて	MAIL
	3 月 30 日	会員各位	大学・短期大学評価セミナー開催案内	MAIL

令和 4 年度 令和 4 年 4 月 1 日～

文書 号 数	日付	宛先	摘要	方法
1	4 月 8 日	学長	72 回(春季)通常総会(開催通知)	MAIL
	4 月 9 日	会員各位	アルバイトの労働条件を確かめよう！」キャンペーン	MAIL
	4 月 11 日	顧問	顧問ほか総会案内	郵送
	4 月 13 日	会員各位	オンラインセミナー「改正障害者差別解消法の施行に向けて」	MAIL
	4 月 19 日	会員各位	「男女共同参画週間」の実施について	MAIL
	4 月 19 日	会員各位	理事会の報告	MAIL

2	4 月 21 日	文部科学省高等教育局長 増子 宏 様	講師依頼 文科省	MAIL/持参
3	4 月 22 日	学長、副学長、学部長	令和 4 年度 会費納入の お願い	MAIL/郵送
3 再	4 月 22 日	学長、副学長、学部長	令和 4 年度 会費納入の お願い(再送 岐阜)	郵送
	4 月 22 日	会員各位	(春季)通常総会の会議室 の変更のお知らせ	MAIL
4	4 月 26 日	総務省自治財政局長 前田 一浩 様	講師依頼 総務省	MAIL/郵送
5	4 月 27 日	内閣府 地方創生推進室 青木 純 様	講師依頼 内閣府	MAIL/郵送
	5 月 11 日	川崎市立看護短期大学/静岡県立 農林環境専門職大学短期大学部/ 鹿児島県立短期大学 各事務局 長	大学改革支援・学位授与 機構へのデータ提供につ いて(お願い)	MAIL
	5 月 13 日	会員各位	「公正な入学者選抜」の実 施について	MAIL